



**ホッカンホールディングス株式会社
中期経営計画 FUTURE-5**

ホッカングループは2005年10月ホールディングス体制発足以来、中期経営計画『NEXT- 5』
『ACTIVE- 5』を策定し、『ものづくり力』を合言葉に生産性向上やコストダウンによる利益
体質への転換、化粧品充填事業への参入、ヨーグルト充填事業の開始、海外事業の拡大、連結
経営システム導入による経営効率の向上など、数々の成果を達成して参りました。

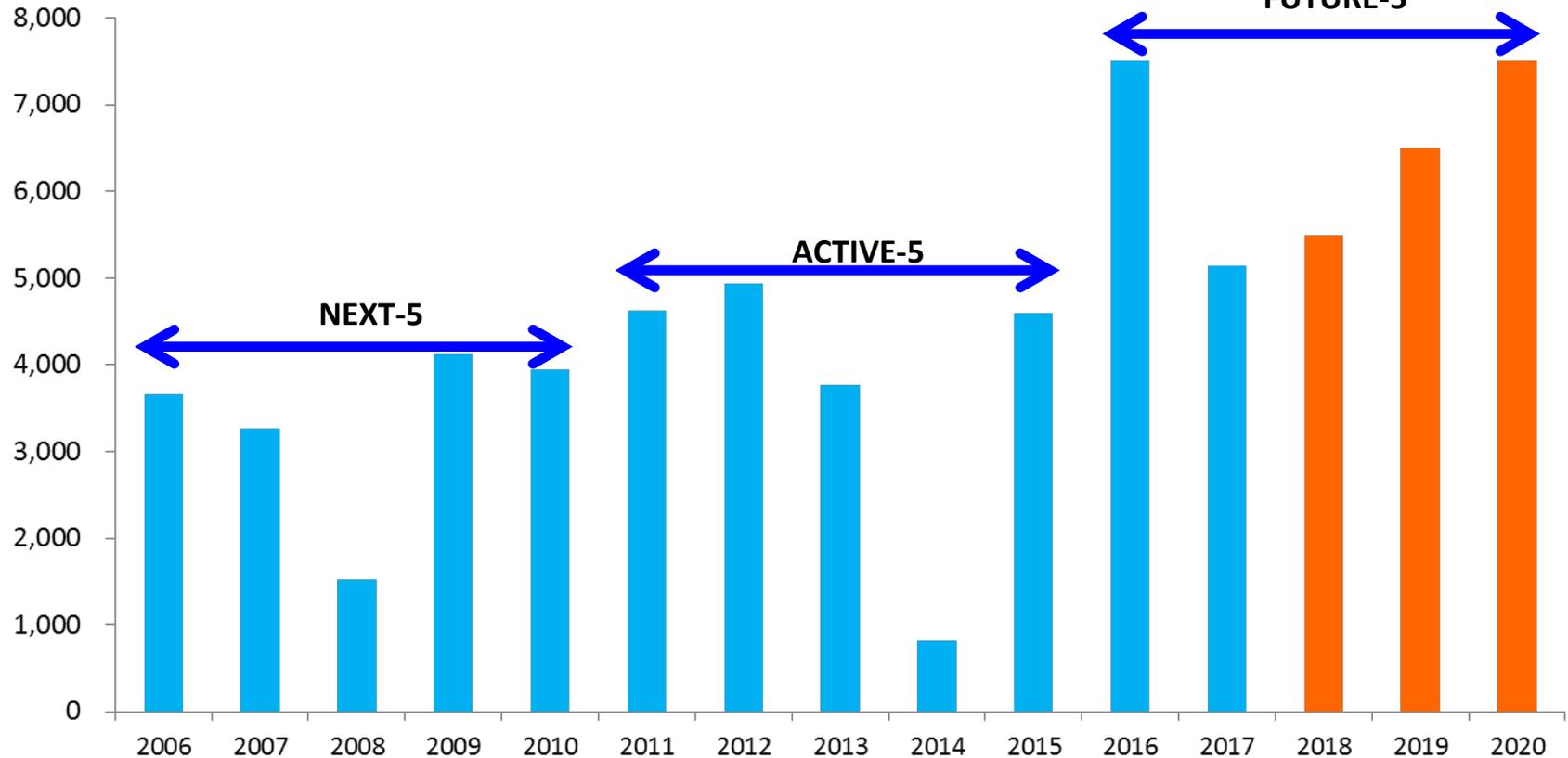
新中期経営計画FUTURE-5につきましては、2016年度から2020年度にわたる計画として策定し
その後、事業環境の変化に合わせ見直しを行っております。今、ここに、当社の将来計画につい
て関係各位へお伝えさせていただきます。「FUTURE-5」、グループの新たなる“未来”を築き上げ
ステークホルダー皆様のみならず、広く社会へ貢献することを目標とし、グループが一体となり
更なる成長を目指して参ります。

ホッカンホールディングス株式会社

代表取締役社長 工藤 常史

営業利益推移

単位：百万円



前々回中計“NEXT-5”期においては営業利益 約40億円が最高値。

前期中計“ACTIVE-5”期においては営業利益 約50億円が最高値。

当中計“FUTURE-5”期においては更なる利益水準の向上を計画しております。

1. 不断の経営改革により、活力と存在感のあるグループ企業であり続けることを目指します。
2. 各種充填事業において、アジアNo.1の地位を確立することを目指します。
3. 全てのステークホルダーと信頼関係を維持し、共栄をしていくグループ企業を目指します。

1. 事業構造の転換

今後の成長事業分野へ、積極的に経営資源配分を実施する。また、不採算事業に対しては個別の対策検討をおこない、具体的な施策を展開・実行する。

2. 海外事業の展開

東南アジア市場の伸長を、当社グループの成長エンジンとして取り込み、飲料充填事業を基幹として、グループの総合力を活かしながら事業展開を加速させる。

3. 新規事業の創出

既存事業を基盤として、グループとしてのシナジーを効かせ、アライアンスやM & Aを活用しながら、新たな基柱となる事業を創出する。

	2017年度実績	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	1,192億円	1,240億円	1,220億円	1,250億円
営業利益	51億円	55億円	65億円	75億円
営業利益率	4.3%	4.4%	5.3%	6.0%
有利子負債	430億円	555億円	613億円	526億円
純資産	550億円	584億円	623億円	673億円
DEレシオ	0.8倍	1.0倍	1.0倍	0.8倍
ROE	8.3%	6.9%	7.5%	8.5%
自己資本比率	38.9%	37.1%	37.3%	41.3%

※為替前提条件は2018年度は110円/ドル、2019年、2020年度については115円/ドルで設定しております。
 ※為替が1円/ドル変化した場合、利益に与える影響は約100百万円であり、円安で減益、円高で増益の効果が発生する見込みです。

営業利益

2017年度 51億円 → 2020年度 75億円

売上高は微増を想定するも、企業の稼ぐ力を端的に示す営業利益については、積極果敢な投資を梃子として大きく向上させて参ります。“稼ぐ力”= “お客様に必要とされる力”という認識の下、高付加価値な製品、サービスの提供に努めて参ります。

営業利益率

2017年度 4.3% → 2020年度 6.0%

営業利益率につきましては、容器事業においては付加価値率が高い製品比率を上げること、充填事業においては最新鋭ライン導入による生産性向上により利益率向上を目指して参ります。

連結DEレシオ 2020年度目標

1.0倍以下

攻めの投資実行に伴い、有利子負債の増加が見込まれますが、財務健全性を考慮し、2020年度においては1.0倍以下を目指します。

ROE 2020年度目標

8.5%

2020年度ROEにつきましては、稼ぐ力を向上させつつ、有利子負債を適度な水準で活用することで、8.5%を目標として参ります。

単位：百万円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
営業利益	998	1,400	2,200	2,800

※セグメント別営業利益はグループ内取引等、内部消去前の数値になります。

※容器事業セグメントに該当するグループ会社は、北海製罐、東都成型、日東製器、昭和製器になります。

- ・ 北海製罐メタル缶事業 : 当中計期間中は一定の利益水準での推移を想定。
- ・ 北海製罐プラスチック事業 : 食品用PETボトル分野を中心に高付加価値新容器を販売。また新たな事業展開として電子タバコ用内容物カップセル容器の製造を開始。
- ・ 東都成型 : 既存顧客からの大幅受注増加による利益増加を想定。
- ・ 増益寄与度見込 : 北海製罐プラスチック事業80%、東都成型20%を想定

単位：百万円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
営業利益	5,198	4,700	4,700	4,900

※セグメント別営業利益はグループ内取引等、内部消去前の数値になります。

※充填事業セグメントに該当するグループ会社は、日本キャンパック、西日本キャンパック、くじらい乳業になります。

- ・ 日本キャンパック : 当中計期間においてもスクラップ&ビルドを継続。
新無菌充填ラインを導入し2019年度後半稼動開始を想定。
- ・ 西日本キャンパック : 当中計期間においても、スクラップ&ビルドを継続。
新無菌充填ラインを導入し2018年度後半稼動開始を想定。
- ・ くじらい乳業 : 当中計期間中においては受注数増加により堅調な推移
を見込む。

3ヶ年投資概要		
容器事業	新規容器対応設備	45億円
	お客様対応投資	50億円
	その他投資	15億円
充填事業	西日本キャンパック無菌充填ライン導入費用	65億円
	日本キャンパック無菌充填ライン導入費用	80億円
	倉庫建設用地取得	20億円
	お客様対応投資	55億円
海外事業	充填ライン増設およびM & A	100億円
その他	海外を除くその他事業セグメント設備投資等	40億円
	合計	470億円

当資料は、投資家の皆様にホッカンホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は作成時点において、当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

経営企画室

TEL：03-3213-5110